

使用上のご注意・主な仕様

ワイヤレススピーカー
LF-S50G



* 4 7 2 7 1 6 8 0 1 *

4-727-168-01(1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この使用上のご注意／主な仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**使用上のご注意／主な仕様および取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

保証書

持込修理

品名	ワイヤレススピーカー		
型名	LF-S50G		
お買上げ日	平成・西暦	年	月 日
本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。			
ソニー特約店			

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル **0120-222-330**
携帯電話・PHSの一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所 お名前	電話	-

無料修理規定

- 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。
※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。
- お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
- 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
 - 本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設・輸送・落下などによる故障・損傷(7)火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変・公害・爆発・ガス害(硫黄ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換・汚損した部分の交換
 - 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
- 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 故障によりお買上げの製品を使用できなくなったことによる損害については補償いたしません。
- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
- 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ
*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 TO2-4

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることが危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口(修理をご依頼ください)。

万一、異常が起きたら

変な音・おいがしたら、煙が出たら

- ACアダプターをコンセントから抜く
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口(修理を依頼する



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因**となります。

付属以外のACアダプターを使わない

家庭用電源で使用するときには、必ず付属のACアダプターを使用してください。破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない

火の中に入れない

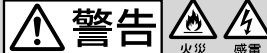
分解しない

故障や感電の原因となります。

火のそばや炎天下などへ放置しない

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因**となります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

火災源の近くで使用しない

火災や感電の危険をさけるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機およびACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機およびACアダプターの上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機の端子に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

本機やACアダプターなどに触れると感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。コンセントに接続されている限り、完全に電源から切り離せません。

自然放熱を妨げない

布をかいたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密着して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないと**けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

- 本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。
- また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。
- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
 - 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

長期間使わないときは、ACアダプターを抜く

長期間使用しないときは安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

使用上のご注意

ACアダプターについて

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACアダプターを持って抜いてください。
- この製品には、付属のACアダプターをご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプターは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 本機およびACアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。故障の原因になる場合があります。
 - 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、照明器具の下など、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - 風呂場など、湿気の多い所
 - ほこりの多い所、砂地の上
 - 時計、クレジットカードなどの近く
 - (録音済みテープや時計、クレジットカードなどは、本機に近づけないでください。)
 - 激しい振動のある所
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、クレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、本機の近くに置かないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

機銘板や重要な情報は本機の底面やACアダプターの表面に表示してあります。

商標について

- Wi-Fi ロゴはWi-Fi Allianceの認証マークです。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® およびWi-Fi Alliance®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Google、Android™、Google Play、Google Home、Chromecast Built-in およびその他のマークまたはロゴはGoogle Inc.の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ヘルプガイドで使いかたを調べる

「ヘルプガイド」はインターネット上で提供している取扱説明書です。

本機の操作のしかたや詳しい使いかたなどを説明しています。

スマートフォンやパソコンでご覧ください。



<http://rd1.sony.net/help/speaker/lf-s50g/ja/>



アップデートに関するご注意

本機のソフトウェアは、Wi-Fiネットワークでインターネットに接続中、自動的に最新のものにアップデートされます。

アップデートは、新しい機能や安定した動作のために必要な場合に随時行われます。

このようなソフトウェアの自動アップデートを無効にすることはできません。また、一度アップデートしたソフトウェアを古いバージョンに戻すことはできません。ソフトウェアのアップデート中は、本機の電源を切らないでください。また、アップデート中は本機の操作ができなくなる場合があります。

本製品の利用には、インターネットの無線接続が必要です。また、Google アカウントと、Google 利用規約及びGoogleのプライバシーポリシーへの同意が必要です。お客様による本製品の使用開始をもって、弊社のソフトウェア使用許諾契約書に同意いただいたものとします。本製品のソフトウェアは自動で更新されます。本製品の自動アップデート機能は無効にすることができません。



防滴について（ご使用前に必ずお読みください）

本機の防滴性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」の“水の浸入に対する保護等級”であるIPX3^{*1}相当の防滴仕様^{*2}となっていますが、完全防滴型ではありません。故意に水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。

防滴の対象となる液体

対象 : 真水、水道水
非対象 : 上記以外の液体(例:石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、プールの水、海水など)

^{*1} IPX3 (飛沫に対する保護等級) :詳細は、ヘルプガイドをご覧ください。

^{*2} 付属品は防滴仕様ではありません。ACアダプターやDC IN 15V端子に水がかからないようご注意ください。


防滴性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
--

防滴性能を保つために

- 下記の点をご確認のうえ、正しくご使用になってください。
- 温度が非常に高いところ(約35℃以上)や低いところ(約5℃以下)で本機を使用したり、放置したりしないでください。上記範囲外で使用したり放置したりすると、内部回路の保護のために、自動的に動作が停止する場合があります。
- 本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防滴性能劣化の原因となることがあります。
- 激しく水や温水のかかる場所での使用は避けてください。本機は、耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかる場所でのご使用は故障の原因となりますので、避けてください。
- 高温のお湯を直接かけたり、ドライヤーなど熱風を直接あてないでください。またサウナやコンロの近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。

本機のお手入れのしかた

- 本機を濡れたまま放置しておくと、水アカやカビなどにより製品が汚れる可能性があります。使用後は水滴を拭き取り、風通しの良い場所で水分がなくなるまで乾燥させることをおすすめします。
- 寒冷地では、使用後に本機に付着した水滴を乾いた柔らかい布などで必ず拭き取ってください。水滴が付着したまま放置すると、水滴が凍結し故障の原因となります。

<p>ライセンスに関する注意</p> <p>本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。</p>	
<p>ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。 http://rd1.sony.net/help/speaker/sl/17g/</p>	
<p>GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ</p> <p>本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様には、添付のGPL/LGPLの条件にしたいが、これらソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「LF-S50G」をお選びください。URL: http://oss.sony.net/Products/Linux なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。</p>	
<p>第三者が提供するサービスに関する免責事項</p> <p>第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。</p>	

主な仕様

<div>スピーカー部</div> <div>スピーカーシステム</div> <div>サブウーファー:直径約53 mm</div> <div>エンクロージャー方式</div> <div>サテライト:密閉型</div> <div>サブウーファー:バスレフ型</div>	
<div>ネットワーク部</div> <div>通信方式</div> <div>IEEE802.11 a/b/g/n(WEP 64 bit、WEP 128 bit、WPA/WPA2-PSK(AES)、WPA/WPA2-PSK(TKIP))</div> <div>使用周波数帯域</div> <div>2.4/5 GHz 帯</div> <div>Bluetooth部</div> <div>通信方式</div> <div>Bluetooth標準規格 Ver.4.2準拠</div> <div>出力</div> <div>Bluetooth標準規格 Power Class 1</div> <div>最大通信範囲</div> <div>見通しの良い場所での直線距離 約 10 m^{*1}</div> <div>周波数帯</div> <div>2.4 GHz帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)</div> <div>変調方式</div> <div>FHSS</div> <div>対応Bluetoothプロファイル^{*2}</div> <div>A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)</div> <div>AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)</div> <div>SBC^{*4}</div> <div>伝送帯域(A2DP)</div> <div>20 Hz ~ 20,000 Hz(44.1 kHz サンプリング時)</div>	
<div>対応コーデック^{*3}</div> <div>伝送帯域(A2DP)</div> <div>20 Hz ~ 20,000 Hz(44.1 kHz サンプリング時)</div>	

^{*1} 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

^{*2} Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

^{*3} 音声圧縮変換方式のこと

^{*4} Subband Codecの略

<div>マイク部</div> <div>型式</div> <div>MEMS (Micro Electronics Mechanical System) 型</div> <div>指向特性</div> <div>全指向性</div> <div>マイクの数</div> <div>2個</div>	
<div>電源部・その他</div> <div>電源</div> <div>DC 15 V (付属のACアダプターを接続してAC100V ~ 240V電源から使用)</div> <div>消費電力(動作時)</div> <div>約8 W</div> <div>消費電力(スタンバイ時)</div> <div>約0.5 W以下</div> <div>使用温度範囲</div> <div>5℃ ~ 35℃</div> <div>最大外形寸法(最大突起部含む)</div> <div>約φ 110 mm × 高さ 162 mm</div> <div>質量</div> <div>約750 g</div> <div>付属品</div> <div>ACアダプター (AC-E1525)</div> <div>取扱説明書</div> <div>使用上のご注意・主な仕様(本書)</div> <div>発話集</div>	

ワイヤレス技術について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。


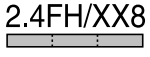
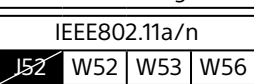
- 本機を分解／改造すること

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「WPA/WPA2、Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)」について認証取得しています。

Bluetooth機能について

本機が対応するBLUETOOTHバージョンとプロファイルについては「主な仕様」の「Bluetooth部」をご覧ください。

<div>本製品の使用上の注意</div> <div>この機器の使用周波数は2.4GHz/5GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。</div> <div> <ol style="list-style-type: none">この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については本書をご覧ください。</div>	
<div>2.4DS/OF4</div> <div></div>	この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。
<div>2.4FH/XX8</div> <div></div>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は80 mです。
<div>5 GHz機器使用上の注意事項</div> <ul style="list-style-type: none">本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。 <div>W52 (5.2 GHz帯/36、40、44、48ch)</div> <div>W53 (5.3 GHz帯/52、56、60、64ch)</div> <div>W56 (5.6 GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)</div>	
<div>IEEE802.11b/g/n</div> <div></div>	<ul style="list-style-type: none">5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のACアダプターを本体と一緒にお持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではワイヤレススピーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

	モデル名:LF-S50G	
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。	http://www.sony.jp/support/	
使い方相談窓口	フリーダイヤル…………… 0120-333-020 携帯電話・PHSの一部のIP電話… 050-3754-9577	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
修理相談窓口	フリーダイヤル…………… 0120-222-330 携帯電話・PHSの一部のIP電話… 050-3754-9599 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	
FAX (共通)0120-333-389		

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

